

標 題 : Mediterranean Diet and Prostate Cancer Risk and Mortality in
the Health Professionals Follow-up Study

「医療従事者追跡研究」における地中海食事と前立腺がんのリスクおよび死亡率

著 者 : S.A. Kenfield, et al. (米国 サンフランシスコ カリフォルニア大学 泌尿器科)

掲 載 誌 : Eur. Urology 2014 May; 65(5): 887-894

要 旨 :

背 景 : 前立腺がんの死亡率は、北欧と比較して地中海沿岸諸国で低い。

地中海食事の特定成分が前立腺がんリスクに影響すると思われるが、進行性または致死性の前立腺がん発症のリスクまたは非転移性の前立腺がんと診断された男性の間での疾患の進行に関して、少数の研究しか伝統的な地中海食事パターンを評価してこなかった。

目 的 : 伝統的な地中海食事パターンが、進行性または致死性の前立腺がん発症のリスクおよび前立腺がんの男性の間で前立腺がん特有の死亡率および総死亡率と、関連するかどうかを判定すること。

計画、設定、および参加者 : 「医療従事者追跡研究」で 47,867 人の男性を 1986 年から 2010 年まで、我々は前向きに追跡した。

症例だけの解析は非転移性の前立腺がんを診断された男性 4538 人を組み入れて、診断から致命的な転帰または 2010 年 1 月まで追跡した。

結果測定および統計的な解析 : 前立腺がんの発症転帰(進行性および致死性の疾患)との関連で伝統的および代替の地中海食事スコアを検討するため、我々は Cox 比例ハザードモデルを使用した。

症例だけの生存率解析では、非転移性疾患と診断された男性の間で、診断後の地中海食事と致死性(転移または前立腺がん死亡)および致命的な前立腺がんのリスクを、我々は検討した。

結果および限界 : 1986 年から 2010 年の間に、6220 件の前立腺がん症例が確認された。

地中海食事は、進行性または致死性の前立腺がんのリスクと関連しなかった。症例だけの解析で、診断後の地中海食事と致死性または致命的な前立腺がんとの間に関連はなかった。

しかし、前立腺がん診断後に地中海食事の順守が高い男性の間では 22%低い総死亡リスクであった(ハザード比 : 0.78 ; 95%信頼区間、0.67-0.90 ; p 動向 = 0.0007)。

我々は、代替スコアについても同様な関連を見いだした。

結 論： 高い地中海食事スコアは、進行性の前立腺がんとも疾患の進行とも関連しなかった。

非転移性の前立腺がん診断後の地中海食事の高い順守は、低い総死亡率と関連した。

キーワード： 前立腺がん、リスク、死亡率、地中海食事、疫 学
